

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 取組概要

北海道大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

日本とタイの獣医学教育連携:アジアの健全な発展のために

【プログラムの目的・養成する人材像】

新興再興感染症, 食の安全, 動物福祉および環境保全などアジアが抱える諸問題にグローバルな視点で立ち向かう獣医師及び獣医学研究者・教育者を養成し, アジアの健全な発展に資することを目的とする。アジア各国の獣医系大学, 研究所, 行政機関, 動物病院及び企業において獣医学に関連する諸問題への対策を国際的な視野で主導し, アジア全体を俯瞰できる獣医師, 獣医学研究者・教育者を育成する。

【構想の概要】

日本の3大学(北海道大学, 東京大学, 酪農学園大学)とタイのカセサート大学とが単位互換をともなう獣医学部学生の交換留学を行い, タイではASEAN諸国のリーダーとなる獣医師を, 日本ではアジアの状況を把握し世界的な視野で活躍できる獣医師を育成する。

■ 交流プログラムの質の保証

○ プロジェクト推進組織

- ・北大拠点事務所, タイ拠点事務所を置き, 学生の生活及び履修のサポート及び大学間の調整を行う。
- ・重要事項等を審議するため, 北海道大学, 東京大学, 酪農学園大学各5名からなる国内委員会及び日本の3大学, タイのカセサート大学, チュロンコン大学各2名からなる国際委員会を設置し, 公平・公正なプログラム運営を行う。

○ 単位の相互認定, 実質化

- ・担当教員, 国内委員会の成績評価を経て, 最終的に国際委員会で認定する。拠点事務所に常駐する教員は, 学生及び担当教員と面談を行い, 成績評価の透明性及び客観性を担保し, 単位の実質化を厳守する。なお, 認定基準及び成績評価基準はプロジェクトホームページで公開し, 学生に周知する。

■ 交流プログラムの内容

プロジェクトの全体像

北海道大学(拠点校)*1
東京大学
酪農学園大学
(日本, 農学)

毎年25名+5名*2
の学部学生を
相互派遣

カセサート大学(拠点校)*1
チュロンコン大学
(タイ, 農学)

- * 1. 拠点事務所を北海道大学とカセサート大学に設置
- * 2. 北大-チュロンコン大学間の自主交換留学

○日本は学部5年生後期, タイは学部6年生前期の学生を派遣

○UCTS換算
15~23単位を互換
○日本では高度先進獣医療, タイでは野生動物医療など, 各大学が特色ある履修科目を臨床ローテーション, アドバンス科目として提供

○日本とタイの学生が一緒に野外実習やインターンシップを履修することにより学生間及び地域との交流を重視

→ アジアを俯瞰できる獣医師, 獣医学研究者・教育者を養成



- ・感染症制圧
- ・環境汚染防止
- ・食の安全確保
- ・高度獣医療の提供
- ・絶滅危惧種の保全
- ・実験動物福祉の向上
- ・新規薬剤の開発



臨床実習(北海道大学)



臨床実習(カセサート大学)

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

■ 注) H25は実績, H26以降は申請時の計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	—	—	25	—	—	—	—	—	25	—	—	—	—	—	25	—	—	—	—	—	25	—	—	—
学生の受入	0						25						25						25						25					

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

○ 外国人学生へのサポート体制(受入)

- ・北大拠点事務所において, 履修指導, 教育支援, カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・シラバスを英語で作成し配付する。履修情報等をHPに公開する。
- ・カセサート大駐在の日本人教員が事前・事後研修を行う。

○ 留学中の日本人学生への支援(派遣)

- ・カセサート大拠点事務所において, 履修指導, 教育支援, カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・北大駐在の外国人教員が事前・事後研修を行う。

